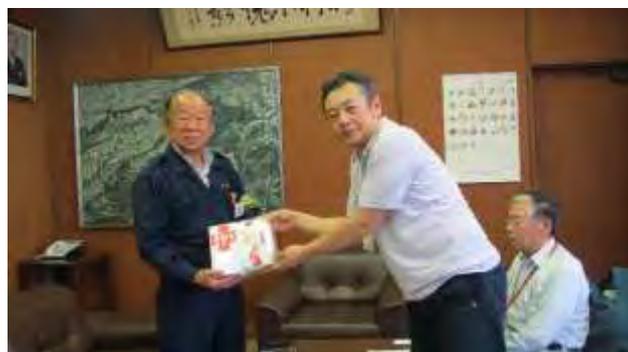


活動報告

団体名	一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク
活動名	被災地とボラセンのための支援活動【神奈川より】プロジェクト
活動期間	2016/04/20 ~ 2016/09/30
活動の成果	<p>①西原村災害ボランティアセンターへの支援（センター運営に必要な人員や資機材、車両などを提供しました。）</p> <p>②阿蘇市 阿蘇 YMCA 災害ボランティアセンター、地域住民、地域ユース、共同で活動を行いました。被災地域の団体とのコラボでの活動などができました。</p> <p>③南阿蘇村災害ボランティアセンター、黒川地区サテライトなどへの支援</p> <p>①～③の地域や地域団体、社会福祉協議会、行政などと相談し、在宅者、避難所、仮設住宅などへの、健康相談やコミュニティ支援、また東海大学の学生（現在は熊本キャンパスなど）などへの支援や救急キッド、資機材などの提供、地域（自治会支援など）を各地で行う事ができました。</p> <p>・地域や、組合、ボランティア団体など）とのコミュニティ（健康相談含む）支援や、資機材等の（生活必要支援物資含む）提供や共同作業、協力事業など多くの支援活動を行う事ができました。</p> <p>④・熊本支援への各種コーディネート（神奈川県内含む） 神奈川県内を中心に、熊本支援団体交流会を開催しました。 支援団体情報交換会（熊本支援への情報交換や活動紹介など） 検討会（熊本支援への情報共有や具体的な支援などの検討会）</p>
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震対応への皆様からのご支援（支援活動に対しご寄付等を頂戴したこと等）、本当にありがとうございます。</p> <p>発災当初、余震が多く続き、また天候なども悪く、また支援場所や宿泊が大変不便であるなどの理由により、ボランティアの参加も少なく、また資機材も少なかったなどの事から、災害ボランティアセンター運営側などへの支援を優先しました、運営側の支援も大変大切な活動です、その後各地の被災地への現地支援活動なども行いました。</p> <p>多くの被災者は、やっと仮設などの生活に慣れつつありますが、未だ現地の混乱は続いています、当団体でも今後もできる限りの支援活動を行っていきたいと考えています。</p> <p>今回の支援や、今までの支援へのご協力に感謝するとともに、皆様の支えがあってこそ、このような活動ができる事、大変ありがたく思っております。</p> <p>本当にありがとうございました。</p> <p>寄付を頂きましたすべての皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

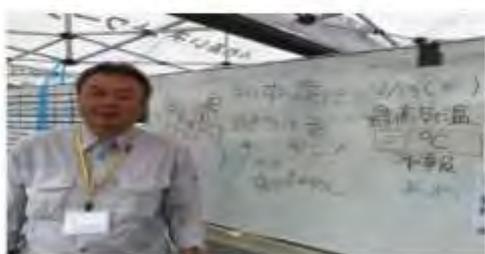




南阿蘇村黒川地区のがれき撤去や家財取り出し作業など。



避難者や在宅者などへの健康相談、傾聴活動と専門家によるコミュニティー支援活動など。



西原村の夏へのセンター活動 東海大学南阿蘇キャンパスの大学生への支援でキャンピングカーを提供しました、東海大学の学生の宿舎として使用中です。



トイレカー 被災地では大活躍です。

現地活動団体との連携も行っています。



現地で活動を行う大学生などのコーディネートも行っています。

各種の活動を行う事ができました。多くの皆様のご支援、ご協力のお陰です、本当にありがとうございました。当団体は、現在も熊本への支援活動、東日本大震災（宮城県）への支援活動も継続しております、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、本当にありがとうございました。

やまと災害ボランティアネットワーク 代表理事 市原 信行